



石川県済生会金沢病院 〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@po3.nsknet.or.jp URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>

ご利用の皆様へ

副院長 浦 美奈子



「この時期だから考えたこと」

大暑を迎える前から猛暑が続いています。夏の暑さと共に季節を感じる『先の大戦』があります。私の孫たち(小学生)の国語の教科書で、この時期決まって戦時中のお話が登場し、音読の「聞いたよサイン」をしては、またこの季節が来たなと感じます。お盆には我が家族とご先祖様の霊に手を合わせ、思いを馳せております。

さて、今年は私が尊敬していたお二人の医師がその生涯を閉じられました。一人は金沢赤十字病院副院長の西村元一医師です。期せずして同じ年に私も大学病院から異動し、医師と看護師という職種の違いはありましたが、生意気にも先生とはお互い新天地で地域医療を頑張ろうとお話させていただきました。各種セミナーやイベントでもよくお会いし、看護師の集まりにも積極的に参加していただき、多くの刺激を受けました。もう一人は聖路加国際病院名誉院長の日野原重明医師です。『新老人の会』の活動を通じて数回ですが直接お話をさせていただいたことがありました。もう100歳という頃の先生でしたが、僅かな時間も惜しんで意欲的に活動をされて、お話しも簡潔でありテキパキと行動されていました。いつの時も気迫を感じたことを憶えています。

お二方とも、医師としてのご活躍は言うに及ばず、生き様の凄さを今改めて感じているところです。これまでも多くの患者さんの命を救い、家族を癒し、未来を創造してこられた多くの業績を知ることとなりました。自身ががんと告げられても、西村先生は医師として仕事を続け、ご自身の体験をも後輩の指導とがん患者支援に捧げられました。大きな衝撃とともに尊い教えとなりました。

また、日野原先生は「生きる」姿勢を身をもって教えてくださいました。「自分の命は使える時間であり、その時間を誰かのために使う」という発想。「人生はゴールの時まで向上できるし希望がある」と人生の最終段階の時まで、いかに生きるかが大切であると。どのように死の瞬間を迎えるのかより、その時までいかに生きるかが重要であると、いつの頃からか私自身も考えるようになり、「よく生きた」と思えるように努めています。考え方が変わると人や物事への関心の持ち方や対応が変化すると実感しています。

当院にも7月から地域包括ケア病棟が開設され、これまで以上に地域で暮らす人々の療養と生活を支える活動が始まっています。二人の先生からの教えに添えば、住み慣れた場でいつものように暮らすことが「よく生きた」につながるのではないのでしょうか。地域全体に暮らす人たちが自分の使える時間を互いに役立たせることを目指したいものです。

医療者は人の人生に触れる重要な役割と責任があります。そこで出会う人たちからも多くのことを学びます。私たちも自分らしく力を発揮して世の中の役に立ちたいと思います。

お二人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

* 日野原先生は済生会創設の明治44年のお生まれです。



祝 準優勝！ 済生会北信越ブロックソフトボール大会 in 福井

平成29年5月28日(日)に福井市で「済生会北信越ブロックソフトボール大会」が開催されました。

昨年の富山大会では、予選ブロック敗退(2戦2敗)と悔しい思いをしましたが、今年は予選ブロックで高岡病院と三条病院に競り勝ち(2戦2勝)、3年ぶりの決勝進出を果たしました！

決勝では、強敵の福井病院に残念ながら敗れ準優勝となりましたが、久

しぶりの好成績に選手一同清々しく充実した気持ちで大会を終えることができました。

なお、来年は新潟市(担当:新潟第二病院)で開催されますが、優勝を目指して頑張りたいと思っています。これからも応援よろしくお願いします。



「第66回金沢百万石まつり」に参加しました！



踊り流しの様子



ソーデーウォーク(ひがし茶屋街で記念撮影)

6月2日～4日までの3日間、金沢市中心部で「第66回金沢百万石まつり」が開催されました。3日には、メイン行事である加賀藩祖・前田利家公の金沢城入城を再現した「百万石行列」や一般市民が参加しての「百万石踊り流し」が行われ、踊り流しには当院からも46名の職員が参加しました。企業や学校などの各種団体と飛び入りの市民ら約1万2,500人が片町、香林坊のメインストリートで「百万石音頭」などの音楽に合わせて笑顔で踊り、まつりの夜を大いに盛り上げました。

4日には、協賛行事である「加賀百万石ツーデーウォーク」に17名の職員が参加し、浅野川沿いを中心に、ひがし茶屋街や金沢城公園を散策する8キロのコースを2時間半かけて完歩しました。当日は揃いのユニフォームを着用し、のぼり旗を掲げて、金沢の歴史ある城下町の風情を満喫しました。

来年は、それぞれのチームにもっと多くの参加者を募り、職員同士の輪を更に広げ、地域の皆様に当院をアピールしていきたいと思っています。

登録医のご紹介



わかさ内科クリニック

住 所：〒920-0024 石川県金沢市西念3-16-25

T E L：076-234-1133

診療科名：内科、小児科、循環器科、胃腸科

休 診 日：日曜祝日、水曜土曜午後



院長 若狭 豊

金沢の彦山町で生まれ、育ち、金沢大学で学び、平成10年に開業。循環器内科を専門として研鑽を積んでいます。小児心疾患・不整脈の関わりにて、長く金沢市の学校心臓検診や県体育協会スポーツドクターとしてアスリートのメディカルチェックにも携わっています。0才～100才の幅広い年齢層に頼りになるかかりつけ医を実践していきたいと思っています。

あおばウィメンズクリニック

住 所：〒920-0344 石川県金沢市畝田東3-540

T E L：076-267-1255

診療科名：婦人科（※予約制）

休 診 日：日曜祝日、木曜土曜午後



院長 日高 奈津子

2015年に開院した婦人科クリニックです。

スタッフは全員女性ですので、小さなお子様や思春期の方も、お気軽に受診していただきたいと思います。女性のヘルスケアアドバイザーも取得しました。人には話しづらい日常の悩み、生理やおりもの、更年期など何でもご相談できるクリニックでありたいと思っています。

まえだ整形外科・骨・関節クリニック

住 所：〒920-8216 石川県金沢市直江町38-8

T E L：076-255-6627

診療科名：整形外科、リハビリテーション科

休 診 日：日曜・祝日・水、土曜午後



院長 前田 亨

関節の痛みや腰痛、骨折など整形外科一般の治療に従事しています。勤務医時代に培ってきた知識と経験をもとに、より多くの患者さんの痛みを和らげ、日常生活の質の向上に貢献して行きたいと思っております。

資格：日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本整形外科学会認定リウマチ専門医、日本体育協会認定スポーツ医

院内設備：オープンMRI、エコー、骨密度測定器、リハビリテーション機器一式

◆ 新規着任医師 ◆



泌尿器科

石井 健夫 (いしい たけお)

1年ぶりに再度勤務します泌尿器科の石井です。専門は排泄障害です。できるだけ多くの患者さんに満足いただける医療を目指し頑張ります。



内科

藤本 彩 (ふじもと あや)

2017年8月から赴任しました藤本と申します。以前は金沢大学附属病院に勤務しておりました。患者さん一人一人にあわせた治療を心がけています。よろしくお願いいたします。 専門：糖尿病